

成田市インターネット市政モニター アンケート集計結果

第 104 回のテーマは「防災情報の取得方法に関するアンケート調査」でした。

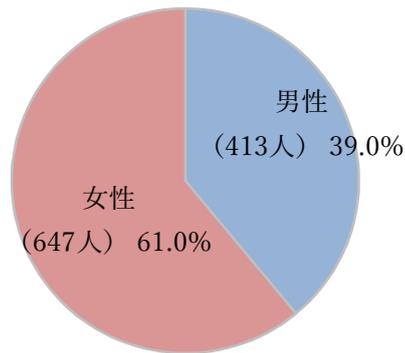
配信者数:1,510 人

実施期間:令和 7 年 4 月 18 日(金)～4 月 28 日(月)

回答者数(回答率):1,060 人(70.2%)

性別

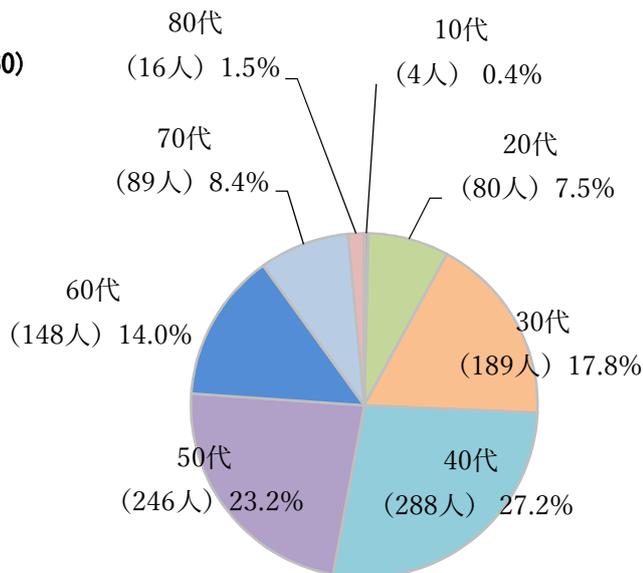
(回答者数=1060)



単一回答	人	%
全体	(1060)	
1 男性	413	39.0
2 女性	647	61.0

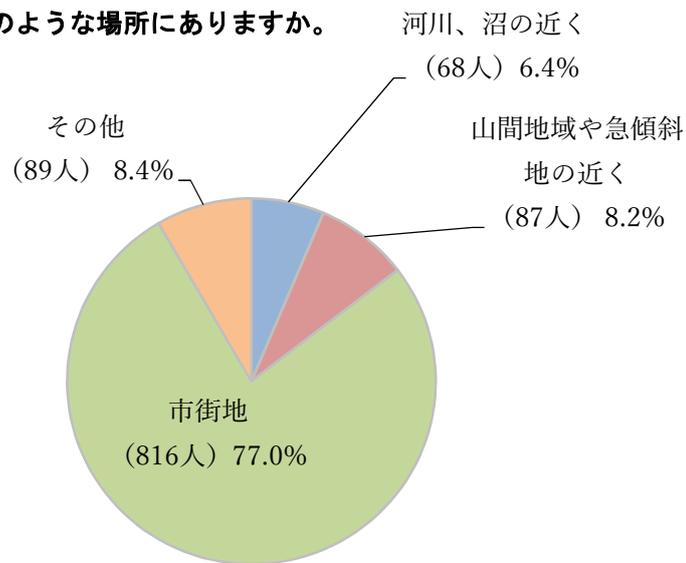
年代

(回答者数=1060)



単一回答		人	%
	全体	(1060)	
2	10代	4	0.4
3	20代	80	7.5
4	30代	189	17.8
5	40代	288	27.2
6	50代	246	23.2
7	60代	148	14.0
8	70代	89	8.4
9	80代	16	1.5

【Q1】お住まいの地域はどのような場所にありますか。
(回答者数=1060)



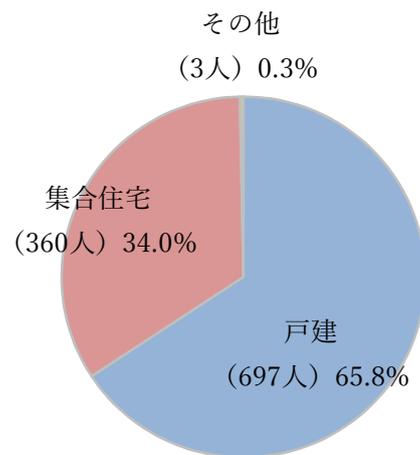
単一回答		人	%
	全体	(1060)	
1	河川、沼の近く	68	6.4
2	山間地域や急傾斜地の近く	87	8.2
3	市街地	816	77.0
4	その他	89	8.4

【分析結果】

河川、沼の近く(6.4%)や山間地域や急傾斜地の近く(8.2%)といった、災害の危険度が比較的高い地域にお住まいの方が全体の14.6%いるということが伺えます。

[Q2] お住まいの住居の種類を教えてください。

(回答者数=1060)



単一回答	人	%
全体	(1060)	
1 戸建	697	65.8
2 集合住宅	360	34.0
3 その他	3	0.3

【分析結果】

戸建ての住宅にお住まいの方が 65.8%、集合住宅にお住まいの方が 34.0%であり、全体の比率としては集合住宅よりも戸建ての住宅にお住まいの方が多いことが伺えます。

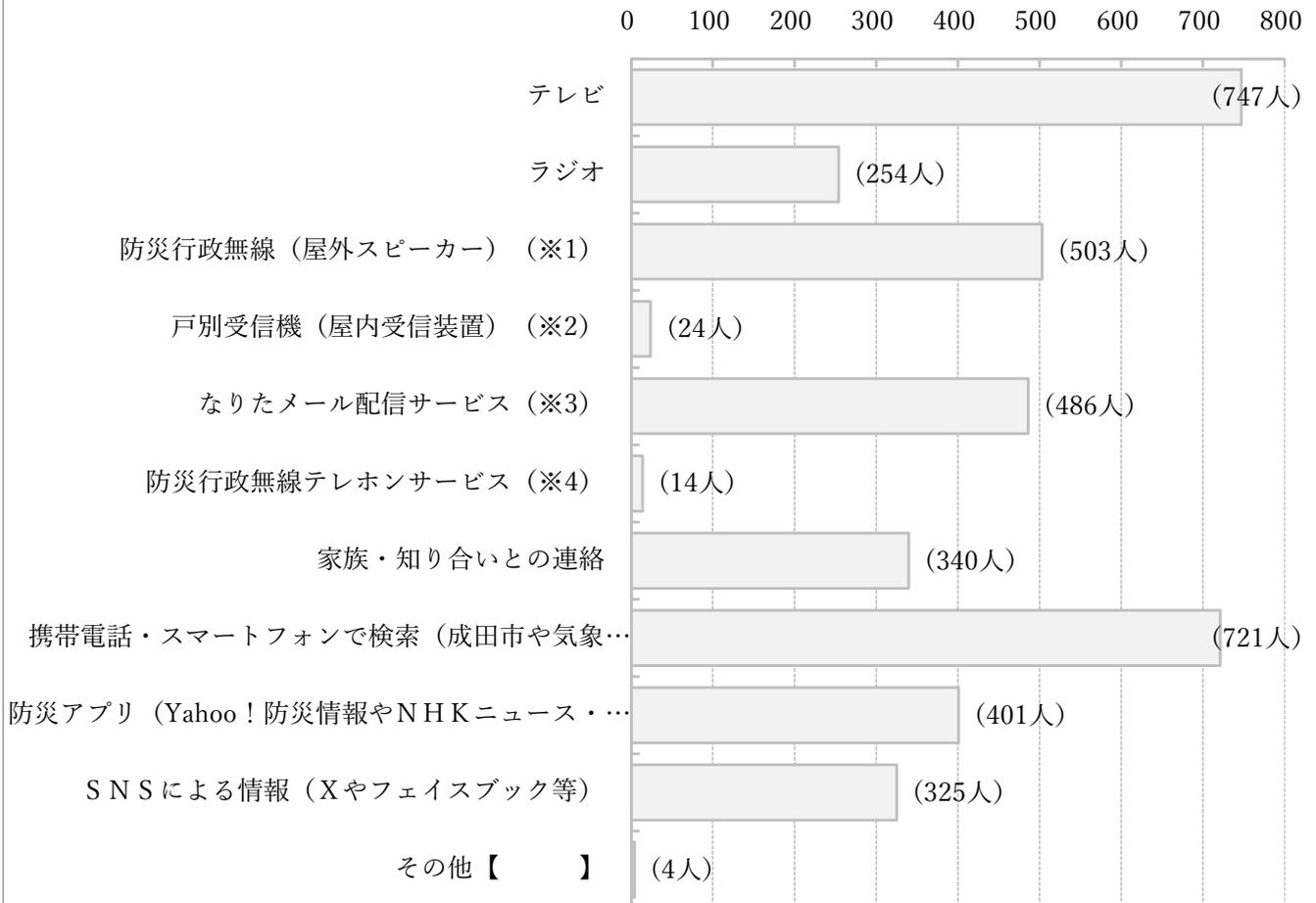
[Q3] 災害が起きた時、あなたはどのような方法で防災情報を収集しますか。

※1防災行政無線：市内各所に設置の屋外スピーカーにより防災情報等を放送します。

※2戸別受信機：空港の騒音区域内の居住者を対象に設置している防災行政無線の受信装置で、屋内にいても装置の音声により放送を聞くことができます。

※3なりたメール配信サービス：防災行政無線の放送内容をはじめとした様々な情報を電子メールにより配信します。

※4防災行政無線テレホンサービス：放送された防災行政無線の内容を電話で聞き返すことができるサービスです。



複数回答	人	%
全体	(1060)	
1 テレビ	747	70.5
2 ラジオ	254	24.0
3 防災行政無線 (屋外スピーカー) (※1)	503	47.5
4 戸別受信機 (屋内受信装置) (※2)	24	2.3
5 なりたメール配信サービス (※3)	486	45.8
6 防災行政無線テレホンサービス (※4)	14	1.3
7 家族・知り合いとの連絡	340	32.1
8 携帯電話・スマートフォンで検索 (成田市や気象庁などのホームページ)	721	68.0
9 防災アプリ (Yahoo! 防災情報やNHKニュース・防災等)	401	37.8
10 SNSによる情報 (Xやフェイスブック等)	325	30.7
11 その他【 】	4	0.4

その他【 】

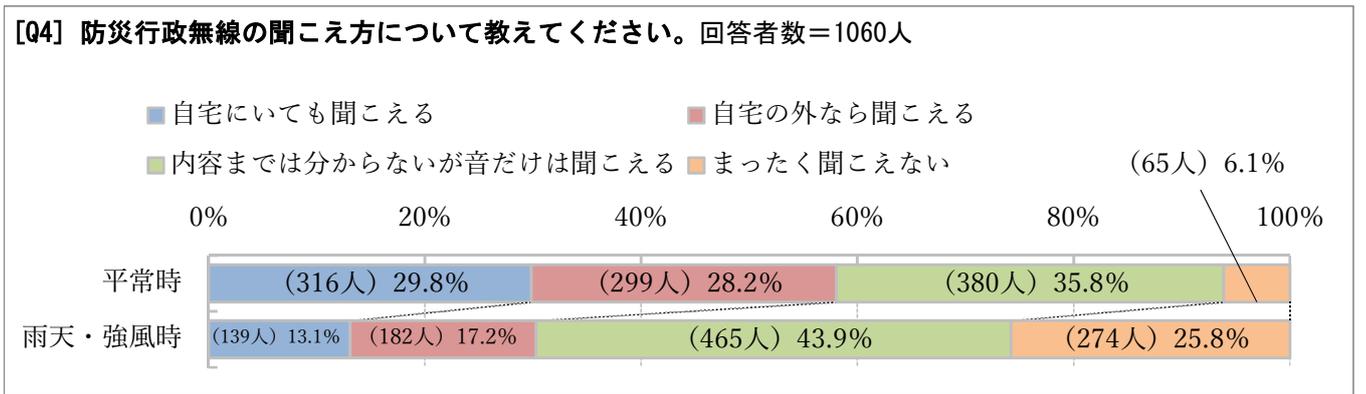
- 国土交通省、防災研究所、地震研などのサイト

● 会社からの情報や安否確認 ほか2件

【分析結果】

テレビ(70.5%)、携帯電話・スマートフォンで検索(68.0%)、防災行政無線(47.5%)などの、一般に普及または設置されていてアクセスしやすい情報源で、かつ、信頼性のより高いものが上位にくる一方、個人ごとの認知度や活用度に差がある防災アプリ(37.8%)やフェイクニュースなど情報の信頼性に懸念がある SNS による情報(30.7%)については一定層にとどまりました。

成田市防災情報 X など、信頼性の高い SNS をはじめとするデジタル活用の促進を行うとともに、デジタル手段が使いづらい層に対する情報格差の是正として、戸別受信機(2.3%)や防災行政無線テレホンサービス(1.3%)などの周知や活用の促進を検討する必要があります。



単一回答マトリクス

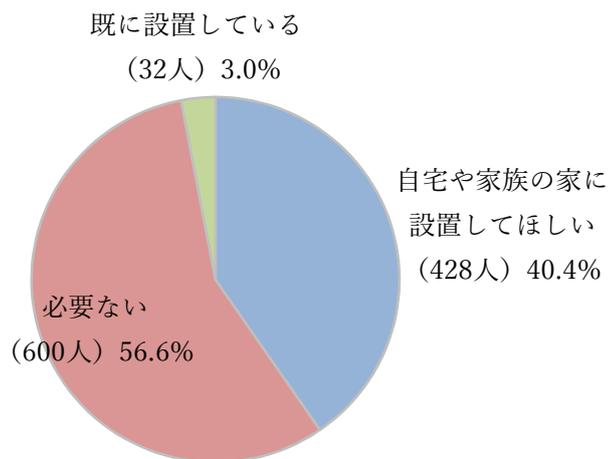
		1	2	3	4	
		自宅にいても聞こえる	自宅の外なら聞こえる	内容までは分からないが音だけは聞こえる	まったく聞こえない	
1	平常時	(1060)	316 29.8	299 28.2	380 35.8	65 6.1 (人) (%)
2	雨天・強風時	(1060)	139 13.1	182 17.2	465 43.9	274 25.8 (人) (%)

【分析結果】

平時においても自宅で防災行政無線の内容まで聞こえている方は全体の3割に満たず(29.8%)、雨天や強風時に至っては、1割強(13.1%)まで落ち込んでしまう結果となりました。ただし、雨天・強風時の場合でも7割強(74.2%)の方が防災行政無線の音については聞こえており、防災情報の内容を伝達することについて検討が必要な一方、災害情報を収集するきっかけとなっていることも伺えます。

[Q5] 戸別受信機（屋内受信装置）についてご意見を聞かせてください。

(回答者数=1060)



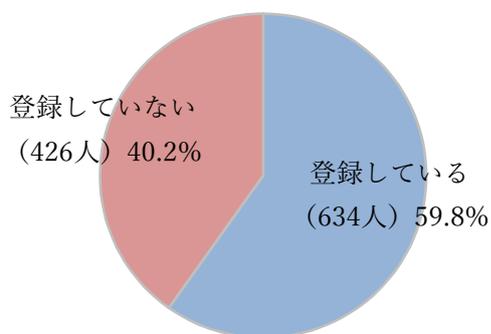
単一回答	人	%
全体	(1060)	
1 自宅や家族の家に設置してほしい	428	40.4
2 必要ない	600	56.6
3 既に設置している	32	3.0

【分析結果】

ご意見の内訳といたしましては、自宅や家族の家に設置してほしい(40.4%)、必要ない(56.6%)、既に設置している(3.0%)となり、戸別受信機に一定の需要があることが伺えます。

[Q6] あなたはなりたメール配信サービスに登録していますか。

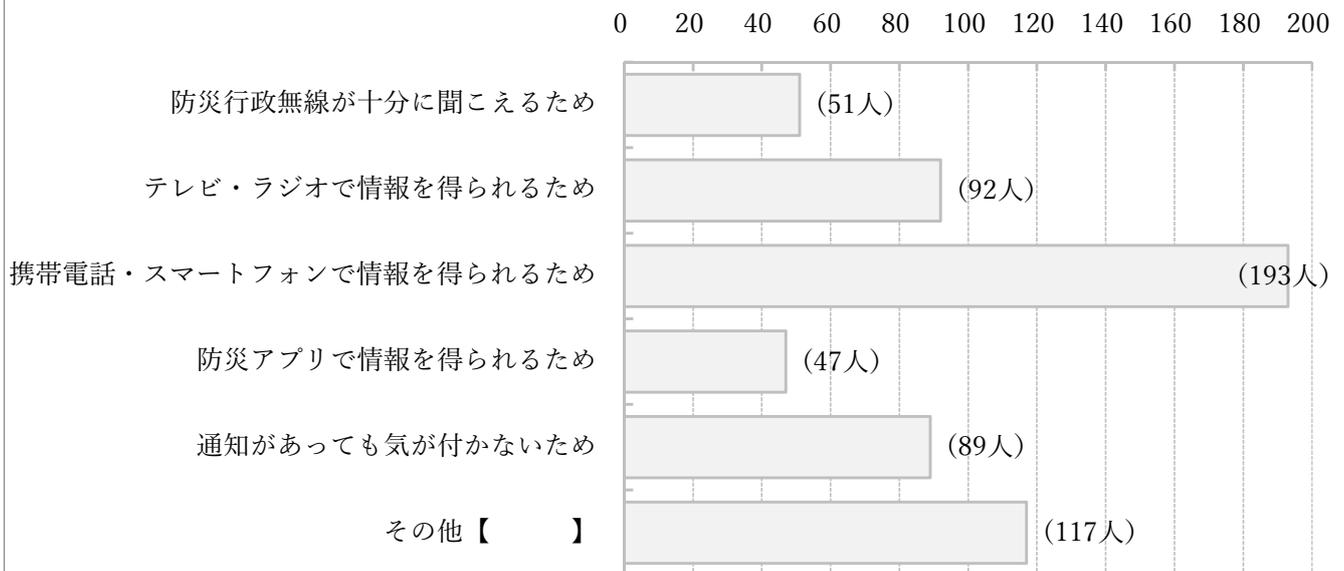
(回答者数=1060)



単一回答	人	%
全体	(1060)	
1 登録している	634	59.8
2 登録していない	426	40.2

[Q7] 問6で「登録していない」を選択した場合、理由は何ですか。

(回答者数=426)



複数回答	人	%
全体	(426)	
1 防災行政無線が十分に聞こえるため	51	12.0
2 テレビ・ラジオで情報を得られるため	92	21.6
3 携帯電話・スマートフォンで情報を得られるため	193	45.3
4 防災アプリで情報を得られるため	47	11.0
5 通知があっても気が付かないため	89	20.9
6 その他【 】	117	27.5

その他【 】

- サービスを知らなかった:67件
- 登録方法がわからなかった:12件
- 通知が多すぎるためやめてしまった:5件
- 家族が登録しているため、自分では登録していない:5件
- 不要である:2件
- その他:25件

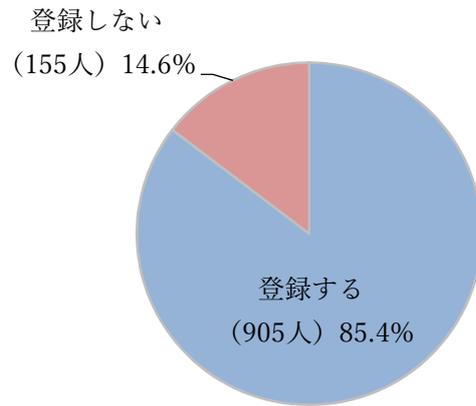
【分析結果】

携帯電話・スマートフォンで情報を得られるため(45.3%)、テレビ・ラジオで情報を得られるため(21.6%)など、代替手段により情報を得られることからサービスを必要としていない方が多いことが伺えます。

一方で、通知があっても気が付かないため(20.9%)、サービスを知らなかった(6.3%)、登録方法がわからなかった(1.1%)など、配信や周知、運用の方法に課題があることがわかりましたので、それらの改善について検討する必要があります。

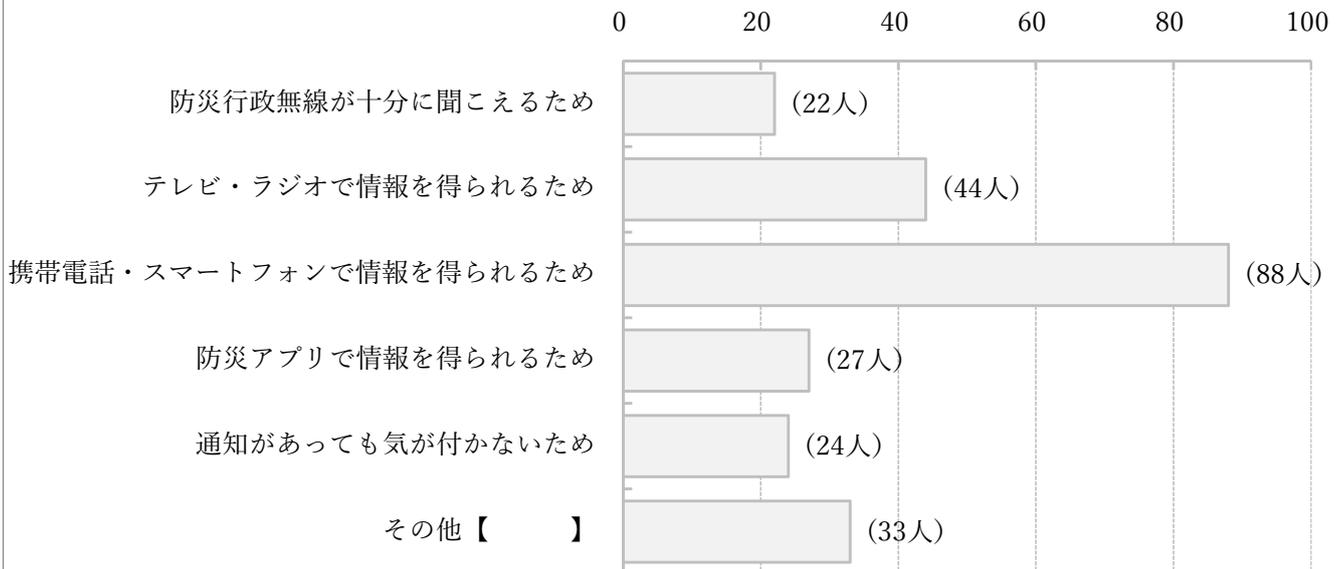
[Q8] LINEなどのアプリに防災情報を通知してもらえたり、現在地に近い避難所を教えてくれたりするサービスがあったら登録しますか。

(回答者数=1060)



単一回答	人	%
全体	(1060)	
1 登録する	905	85.4
2 登録しない	155	14.6

[Q9] 問8で「登録しない」を選択した場合、理由は何ですか。
(回答者=155)



複数回答	人	%
全体	(155)	
1 防災行政無線が十分に聞こえるため	22	14.2
2 テレビ・ラジオで情報を得られるため	44	28.4
3 携帯電話・スマートフォンで情報を得られるため	88	56.8
4 防災アプリで情報を得られるため	27	17.4
5 通知があっても気が付かないため	24	15.5
6 その他【 】	33	21.3

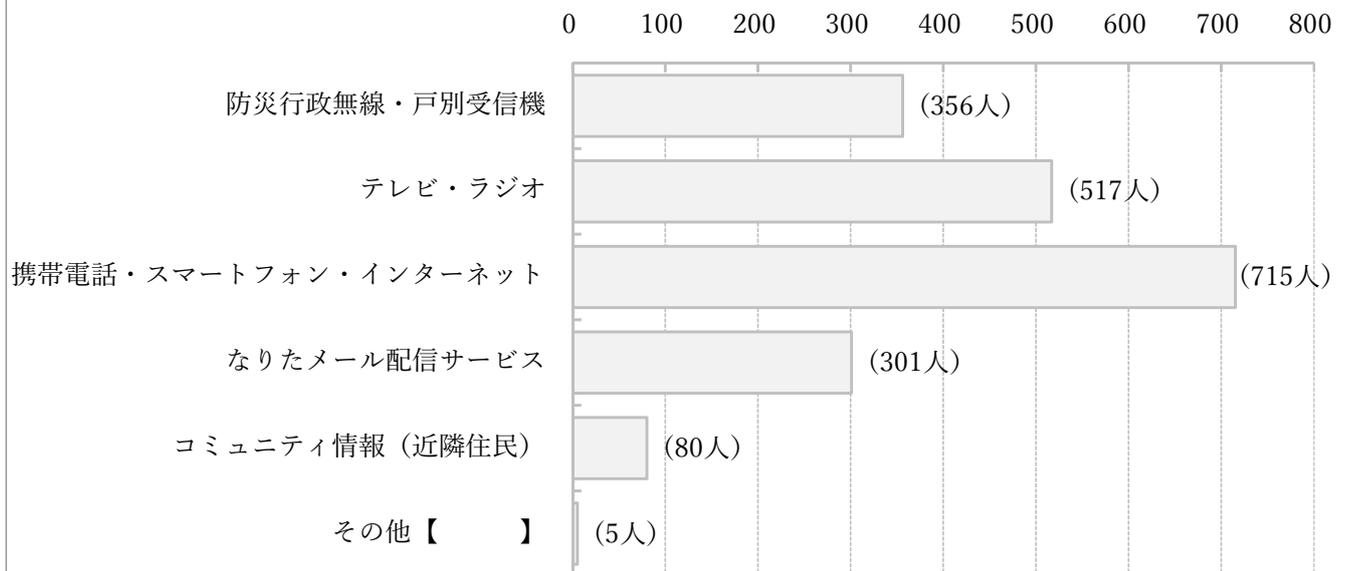
その他【 】

- LINE 等のアプリに不安があるため:8件
- 他の手段がある・重複する・通知が多いため:8件
- 必要性を感じない:3件
- データ通信量が増えるのは負担であるため:3件
- その他:4件

【分析結果】

登録する(85.4%)が大部分を占めることから、多くの人が LINE 等のアプリによる防災情報の伝達に好意的である一方、別の媒体から情報が得られるなどの理由から登録しない(14.6%)も一定数いるという結果となりました。また、登録しない理由の一部では、セキュリティ面や通知の多さに関する指摘も見られました。

【Q10】 災害発生時に重要度が高いと思う情報源を次の中から2つまで選んでください。
(回答者数=1060)



複数回答	人	%
全体	(1060)	
1 防災行政無線・戸別受信機	356	33.6
2 テレビ・ラジオ	517	48.8
3 携帯電話・スマートフォン・インターネット	715	67.5
4 なりたメール配信サービス	301	28.4
5 コミュニティ情報（近隣住民）	80	7.5
6 その他【 】	5	0.5

その他【 】

- 官公庁の HP や SNS による発信情報: 2件
- 成田市の LINE
- その他: 2件

【分析結果】

携帯電話・スマートフォン・インターネット(67.5%)といった比較的最近登場したデジタル媒体に重きを置く回答が多く、次いで、テレビ・ラジオ(48.8%)、防災行政無線・戸別受信機(33.6%)と、以前から存在する情報媒体が続きました。

Q11 本市の防災情報伝達についてのご意見・ご要望をお書きください。

ご意見・ご要望につきましては、市で確認しておりますが、分量の関係から抜粋して掲載いたします。

- スピーカー同士の音が重なって聞こえる。
- スピーカーの音割れがひどいので修理してほしい。
- 男性アナウンスの音が聞き取りにくい。
- (防災行政無線について)速く話してほしい／ゆっくり話してほしい
- 市街地でも防災無線の音が悪い(はっきり聞き取れない。よく聞こえない)
- 家の中では外の放送がほぼ届かないのでメールや LINE をさらに推進してほしい。
- LINE で通知があると便利。
- SNS で情報拡散してほしい。
- おもにメール配信サービスを利用している。
- 防災無線メールサービスを積極的に推してほしい。
- スマホアプリで市独自のものがあれば便利。
- 防災アプリで即時に情報を得たい。
- ケーブルテレビで字幕・テロップを流してほしい。
- ラジオ(地域 FM)も伝達手段に加えてほしい。
- 戸別受信機を各家庭に設置できるようにしてほしい。
- 防災無線のスピーカーの数を増やしてほしい。
- スピーカー配置を見直し、反響対策をしてほしい。
- ケーブルテレビのデータ放送を活用してほしい。
- HP トップを「災害モード」に切り替えてほしい。
- メールに地図リンクを添付してほしい。
- 地域別(区画別)情報を配信してほしい。
- 避難所ごとの細かい情報配信をしてほしい。
- 避難ルートを Google Map で示してほしい。

- 電光掲示板で情報を流す仕組みが欲しい。
- 広報車での呼びかけを強化してほしい。
- スマホに不慣れな高齢者も多いので LINE アカウントの活用には丁寧なサポートが必要。
- X(旧 Twitter)で完結する情報発信を検討してほしい。
- Facebook／Instagram など SNS も活用してほしい。
- 平常時からアプリ・SNS の利用を浸透させてほしい。
- メール登録方法を広報紙や HP で周知してほしい。
- 防災専用 LINE を新設してほしい。
- スマホ通知(警報のような音)を鳴らしてほしい。
- テロップのみでもケーブルテレビで流してほしい。
- 多言語(英語など)放送を併用してほしい。
- 高齢者向けの伝達手段を強化してほしい。
- 停電時も使える代替伝達手段を周知してほしい。
- 衛星回線網を整備してほしい。
- 公共施設のデジタルサイネージで情報を流してほしい。
- 通信障害に備え、地域 FM ラジオも確保してほしい。
- システムが作動するか不安なので訓練を複数回行ってほしい。
- 避難所に行ったら情報が得られる仕組みを作してほしい。
- 情報が重複しないよう隣接自治体とも連携してほしい。

【分析結果】

音声(聞こえない・聞こえづらい・反響する・うるさい など)	119 件
放送方法(わかりやすく・ゆっくり・速く など)	20 件
情報伝達の内容	17 件
迅速・正確な情報配信	15 件
LINE やメール、SNS など	70 件
ケーブルテレビ、ラジオ、その他の伝達手段	10 件
戸別受信機	21 件
設備の設置	21 件
高齢者対応	11 件
外国人対応	5 件
その他	

防災行政無線の音声や放送方法、情報伝達の内容に関するご意見が最も多く、無線の整備状況や放送の仕方等について検討していくほか、LINE、メール、SNS をはじめとした通信関連の技術を活用した伝達手段に関する好意的な意見が多く見られたことから、より周知や改善に努める必要があります。

【まとめ】

この度は、様々なご意見・ご要望をいただき、誠にありがとうございました。

今回のアンケートにより、防災行政無線を聞き取れている方の割合や、その悪条件における変化に

ついて確認できたほか、スマートフォン等の携帯端末に向けた伝達方法に対する関心の高さを把握することができ、防災情報の伝達に関する状況や課題がより明確になりました。

お寄せいただきました貴重なご意見を活かし、より多様かつ確実な防災情報を伝達できるよう、運用及びシステムの改善に取り組んでまいります。